

溶接施行方法の基準（ 1 ）の廃止について

KHKS 0702（昭和 43 年 5 月 17 日制定）

本基準は、溶接作業の確実な施工を推進するため、昭和 43 年に高圧ガス保安協会の自主基準として制定された。当時は、溶接作業に対する実務的技術指針がなかったため、溶接作業者及び作業監督者に対する指導書的なものとして制定されたものである。主な内容は次のとおりである。

溶接作業者の資格

溶接施工法

溶接時の注意事項（溶接の進行方向、天候、開先表面等）

溶接部検査基準（食い違い、開先形状及び変形量制限）

現在、これらの内容は、JIS B 8265「圧力容器の構造 - 一般事項」、特定設備検査規則（例示基準）、JIS Z 3801「手溶接技術検定における試験方法及び判定基準」、JIS Z 3841「半自動溶接技術検定における試験方法及び判定基準」、JIS B 8285「圧力容器の溶接施工方法の確認試験」及び JIS Z 3410「溶接管理 - 任務及び責任」(WES8103「構造物の溶接施工及び管理に関する技術者の認証基準」)において定められている。（別紙参照）

技術基準作成基本方針において技術基準は、制定、改正又は確認の日から 5 年以内に見直しを行い必要に応じて改正等を行うこととなる。本基準については、先に述べたような状況にあるため、廃止することとしたい。

以上

溶接施行方法の基準(1)の 規定項目	溶接施行方法の基準(1)以外で 規定又は記述されている主な規格等
3 溶接作業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JIS Z 3801「手溶接技術検定における試験方法及び判定基準」</li> <li>・ JIS Z 3841「半自動溶接技術検定における試験方法及び判定基準」</li> </ul>
4 溶接施工法の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JIS B 8285「圧力容器の溶接施工方法の確認試験」</li> </ul>
5 溶接継手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定設備検査規則（例示基準）</li> <li>・ JIS B 8265「圧力容器の構造 - 一般構造」</li> </ul>
6 部材の取付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定設備検査規則（例示基準）</li> <li>・ JIS B 8265「圧力容器の構造 - 一般構造」</li> <li>・ JIS Z 3410「溶接管理 - 任務及び責任」（WES8103「構造物の溶接施工及び管理に関する技術者の認証基準」、溶接・接合技術等）</li> </ul>
7 溶接時の気温及び天候 8 溶接の準備 9 溶接の進行方向と順序	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JIS Z 3410「溶接管理 - 任務及び責任」（WES8103「構造物の溶接施工及び管理に関する技術者の認証基準」、溶接・接合技術等）</li> </ul>
10 本溶接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定設備検査規則（例示基準）</li> <li>・ JIS B 8265「圧力容器の構造 - 一般構造」</li> <li>・ JIS Z 3410「溶接管理 - 任務及び責任」（WES8103「構造物の溶接施工及び管理に関する技術者の認証基準」、溶接・接合技術等）</li> </ul>
11 半自動溶接 12 自動溶接 13 その他 13.1 ビーニング 13.2 欠陥の補修 13.3 応力除去焼なまし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JIS Z 3410「溶接管理 - 任務及び責任」（WES8103「構造物の溶接施工及び管理に関する技術者の認証基準」、溶接・接合技術等）</li> </ul>
14 仕上り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定設備検査規則（例示基準）</li> <li>・ JIS B 8265「圧力容器の構造 - 一般構造」</li> </ul>
15 溶接施行記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JIS Z 3410「溶接管理 - 任務及び責任」（WES8103「構造物の溶接施工及び管理に関する技術者の認証基準」、溶接・接合技術等）</li> </ul>